建設地は藤兵衛新田29（敷地面積約4・7㌶）。既存の東棟や粗大ごみ処理施設などを解体し、新焼却処理施設や新粗大ごみ処理施設などを整備する。業務は設計と工事の監理を任せる。地元説明や事業の各検の対象に入っていないが、MCI（メンテナンス・コントロール・インデックス＝維持管理指数）が低下傾向にあり、このままでは長寿命化が進まないと指摘。予算の確保・拡充を課題に挙げた。

関東、中部の両地方整備局や長野県内の道路管理者らで構成する「長野県道路メンテナンス会議」（会長・永江浩一郎関東地方整備局長野国道事務所長）は、本年度の初会合を7月30日に長野市内で開いた＝写

冒頭、永江会長は「20年度から2巡目の点検に入っている。着実な推進には道路管理者間の連携が不可欠だ。課題を共有して進めていきたい」と述べた。

2巡目点検で判定区分ⅢかⅣと判断した施設のう着手した割合は、▽橋梁18・0％（266橋）▽トンネル43・1％（20本）▽道路付属物等9・7％（15施設）（数値はいずれも今年6月末の速報値）。

国への要望では、法定点検に要する費用の財源確保

優勝は野呂敦志選手（ダイニッセイ）

千葉鉄筋協組 鉄筋技能大会予選

千葉県鉄筋業協同組合（樋脇毅理事長）は、第4回全国鉄筋技能大会千葉予選を千葉市美浜区のちば仕事プラザで1日に開いた。与えられた課題で出場した選手が鉄筋組み立てのスピードと精度を競った。優勝したダイニッセイ（千葉県市原市、池田洋一社長）の野呂敦志選手は、10月の第4回全国鉄筋技能大会（TETSU－1グランプリ、主催・全国鉄筋工事業協会）に出場する。

開会式で樋脇理事長は「日頃の成果を存分に発揮し、優勝したら10月の全国大会で千葉県代表として存分に暴れてもらいたい」と激励した。各選手は1級鉄筋施工技能士検定に腹筋1段を加えた全国共通の課題に挑戦。標準時間1時間20分、打ち切り時間1時間40分に設定した競技で、正確さを競った。

優勝した野呂さん（手前）

2位は君塚鉄筋（千葉市若葉区、君塚太社長）の関匡規選手、3位は高千穂鉄筋（千葉県船橋市、樋脇毅社長）の高濱正憲選手だった。樋脇理事長が3人に表彰状とメダルを贈った。

優勝した野呂選手は11年目を迎えた中堅鉄筋工。「現場の合間に練習を重ね直前1週間はみっちり準備した。千葉県初の入賞を目指して練習を続けたい」と全国大会への意気込みを語った。

大同生命 清水建設が設計・施工 横浜市中区に事務所ビル

大同生命保険は、横浜市中区で事務所ビルを建て替える。13階建て延べ約1・2万平方㍍の規模。予定工期は12月24日～2024年12月10日。設計・施工は清水建設が担当する。

計画名称は「大同生命横浜ビル建替え計画」。建設地は中区本町2の16ほか。敷地面積は1171平方㍍、建築面積は826平方㍍。新しいビルはS一部SRC・RC造地下1階地上13階建て延べ1万1797平方㍍（うち容積算定外1458平方㍍）。

三菱総研が契約候補 千葉市、加曽利貝塚新博物館整備運営手法検討

千葉市は「特別史跡加曽利貝塚新博物館整備・運営手法等及び集客活用エリア事業化検討調査業務」の委託先を選定する公募型プロポーザルで、契約候補者に三菱総合研究所を選定した。プロポには3者が参加。プレゼンテーション審査（オンライン）を7月27～29日に実施していた。近く契約する。履行期限は2022年3月31日。委託上限額（税込み）は2000万円に設定している。

若葉区にある加曽利貝塚周辺の再整備に合わせ、加曽利貝塚博物館（桜木町8の33の1）の移転計画などをまとめる業務。移転先は加曽利貝塚エリアの北東側に隣接した旧小倉浄水センター跡地（小倉町）の約1万平方㍍。延べ床面積は5000平方㍍程度を想定する。新博物館は27年度の開館を目指す。

整備・運営手法の検討と集客活用エリアの民間参入に向けた調査を任せる。整備・運営手法では民間活力の導入を視野に従来手法と比較検討し、最適な事業方式を提案する。

清掃センター基幹的設備改良DB公告 館山市

千葉県館山市は、設計・施工一括（DB）方式を採用する「館山市清掃センター基幹的設備改良（長寿命化）工事」の一般競争入札（事後審査型）を7月29日に公告した。入札書を30、31日に電子入札システムで受け付ける。開札は9月1日。事後審査後に落札者を決定し9月定例市議会に契約議案を提出する。工期は2024年2月29日まで。予定価格（税抜き）は27億8900万円に設定している。

入札参加には市入札参加資格者名簿に登録があり、清掃施設工事でAランクが必要。所定の施工実績も求める。

清掃センターの所在地は出野尾538。敷地面積は2万5208平方㍍。1984年に完成した。1日当たりの処理能力は100㌧（50㌧×ストーカ炉2基）。

ロール横浜井土ケ谷新築工事」。建設地は南区井土ケ谷中町1の10ほか。敷地面積は3924平方㍍、建築面積は1637平方㍍。建物はRC造7階建て7棟、総延べ7691平方㍍（うち容積算定外1311平方㍍）。

発注情

◆は工事、■は委託
名＝公示日①締切
③参加資格④工事
⑥工事業務内容
期）⑦予定価格＝税

◆首都高速道路神奈
（一般競争）

は既存照明器
査、維持管理手
照明器具を用い
サービス、サー
の効果検証など
などの窓口は環
境推進室。

男女共同参画
（高津区溝口2
のESCO事業
参加申請を受け
案書の提出期間
15日。審査結果
に通知する。契
月上旬を予定し
約期間は202
日まで。対象施
ターと高津区役
（高津区千年
1）。事業費限度
0万5850円
かわさき新産
ター（幸区新川
の参加申請は4
案書の提出期間
9日。同24日に
通知する。契約
上旬を予定して
期間は27年3月
事業費限度額は
2020円（税

TETSU—1グランプリ予選
代表に野呂さん（ダイニッセイ）

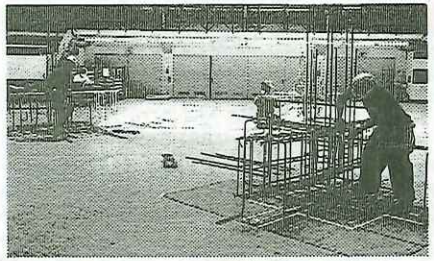
千葉鉄筋

千葉県鉄筋業協同組合（樋脇毅理事長）は1日、千葉市のちば仕事プラザ実技場で第4回全国鉄筋技能大会（TETSU—1グランプリ）千葉県予選会を開いた。組合員の企業から参加した鉄筋技能者が国家技能検定鉄筋組立1級問題にはら筋1段を追加した課題に取り組んだ結果、野呂敦志さん（ダイニッセイ）が優勝し、全国大会への出場権を獲得した。

冒頭、樋脇理事長は「日ごろ現場で施工されている成果を存分に発揮していただきたい。優勝された方には本戦でも千葉県代表として暴れてほしい」とあいさつした。

その後、参加者は所属企業の社員らが見守る中、課題を組み立てた。

2位は関匡規さん（君塚鉄筋）、3位は髙濵正憲さん（高千穂鉄筋）。野呂さんについて君塚太専務理事は「とても素晴らしい精度で組み上げてくれた。本番では、千葉に初の優勝を持ってきてもらいたい」と講評した。



競技の様子。右手前が野呂さん

野呂さんは入社11年目。「現場の合間に少しずつ練習し、最後の1週間はみっちり1日練習した。ダイニッセイで第1、2回の千葉県代表になった鶴田さんができなかった入賞を果たしたい」と意気込みを見せた。

全国大会は10月24日に静岡県富士宮市の富士教育訓練センターで開く予定だ。

理区コンセッション
で対話受付
三浦市

厚木秦野道路の伊勢原地区に計画するトンネルについて、過年度の成果をもとに、下り線暫定形と上り線完成形のトンネル工事、トンネル設備工事に必要な詳細構造を最新の基準を適用して、経済的かつ合理的に設計する。

第一トンネル業務（神奈川県伊勢原市三ノ宮地先）の概要は、▽トンネル詳細設計2カ所▽トンネル数値解析検討2ケース▽工事用道路設計1キロ▽関係機関協議資料作成——など。第二トンネル業務（伊勢原市三ノ宮地先～坪ノ内地先）は、▽トンネル詳細設計2カ所▽関係機関協議資料作成——など。ともに履行期間は2022年2月下旬まで。

大建設計を特定
茨城県民文化C施設最適化調査

茨城県県民生活環境部は、茨城県立県民文化センター施設最適化調査業務委託の公募型プロポーザルを実施した結果、大建設計を特定した。同者を含め提案したのは3者。見積限度額は294万8000円（税込み）で、別途、予定価格を定める。

業務内容は、ザ・ヒロサワ・シティ会館（茨城県立県民文化センター、水戸市千波町東久保697）の本館と分館を対象とした、施設のランニングコスト縮減のための管理コスト最適化調査、時代のニーズにかなった施設にするための施設最適化調査など。委託期間は2022年3月31日までだが、9月までに中間報告書の提出を求めている。

1966年4月11日にオープンした同センターは、本館がRC造地下1階地上3階建て延べ9700平方㍍、分館がRC造2階建て延べ2285平方㍍。設計は芦原義信建築設計事務所が担当し、戸田建設が施工した。

質問受付5日まで
千葉市の稲毛駅東口駅前広場基本条件検討

千葉市都市局は7月30日、JR稲毛駅東口駅前広場基本条件検討業務委託の公募型プロポーザルを公告した。質問は5日まで、参加申込書や企画提案書は24日まで受け付け、31日に選考結果を通知・公表する。9月7日ごろに契約する。

参加資格は市内に本店か支店、営業所があり、名簿に土木関係建設コンサルタント業務（都市計画）で登録していること。2016—20年度に駅前広場整備に関連した基本構想・基本計画・設計の業務実績を複数か所以上、電気工事と管工事が65点以上。11年度以降に処理能力日量8000立方㍍以上の終末処理場について、水処理施設の機械設備工事、装置の電気設備工事の元請実績も1点以上。

プロポーザルは12日まで。実施日は8月20—23日。地調査は2年1月13日。提出は5月13日。プレゼンは7月に実施する。

昭和JVに決まる
神奈川県の阿久和団地公営住宅新築

神奈川県は、「県営阿久和団地公営住宅新築工事（3期—建築—第4工区）」を一般競争入札した結果、9億9033万7000円（税別）の昭和建設・北沢建設JVに決めた。入札には同者を含む23者が参加した。

概要は、RC造5階建て延べ3996平方㍍の共同住宅（1棟60戸）新築。工期は2023年3月17日まで。

建設地は、横浜市瀬谷区阿久和南4—8—185ほかの敷地5656平方㍍。

横浜ビルは清水の設計施工で12月着工
大同生命保険

大同生命保険は、横浜市に計画する「大同生命横浜ビル建替え計画」の建築計画をまとめた。設計施工は清水建設が担当。12月に着工し、2024年4月の完成を目指す。

規模はS一部SRC・RC造地下1階地上13階建て延べ1万1797平方㍍で、高さは58・9㍍。大部分はオフィス用途で、1階に飲食施設などの設置を想定している。

所在地は中区本町2—16ほかの敷地1171平方㍍。826平方㍍を建築面積に充てる。

公告ファイル

【関東地方整備局】

〈業務〉

▽R3国道4号平出工業団地外測量業務（宇都宮国道事務所）▽千葉国道用地調査等業務3D8（千葉国道事務所）▽千葉国道用地調査等業務3D9（同）

移転

▼ダイニッセイの本社　新社屋完成に伴い7月21日から〒290—0056　千葉県市原市五井8857に。電話・ファクスは従来どおり。